

11 / 19 『救助犬デベンタブルに学ぶ神の愛』（Iヨハネ1：7後半）

〈子ども祝福礼拝メッセージ〉

横田 孝子 姉

神様は私たちの世界に沢山の素敵な動物たちを造られました。その中でも私たちの一番近くにいるのは犬です。犬は飼い主への忠実な性格、素晴らしい運動能力、かわいい尻尾やしぐさ…。その中でもとても大きなセント・バーナード犬は特別の犬です。そして、ずっと昔、スイスの山に住んでいたセント・バーナード犬『デベンタブル』に本当に起こったお話です。

その頃のスイスでは、沢山のセント・バーナード犬が雪山での救助活動をするように訓練されていました。すべての救助犬の中でもデベンタブルは最高の救助犬でした。

ある日、デベンタブルは今までで一番ひどい吹雪の荒れ狂う日に人を救助するため雪の中に送り出されました。

そこで深い雪の中で今にも死にそうな男の人を見つけました。デベンタブルは教えられたとおり、毛むくじゃらの大きな身体をゆっくり乗せ、温かな体温が男の人に伝わり、男の人がゆっくりと目を開けたのです。目を開けた男の人は大きな動物が自分の上に馬乗りになっているのを見て、びっくりして無我夢中でデベンタブルの身体にナイフを突き刺してしまいました。「ギャー・・・」

それでもデベンタブルは痛みを我慢しながらゆっくりと避難小屋へと向かって歩き始めたのです。雪の上にはデベンタブルの流した血の跡が点々と残りました。避難小屋にたどり着いたデベンタブルはそこで死んでしまいました。

デベンタブルに命を助けられた男の人は雪の上に流れた真っ赤な血の跡を頼りに避難小屋にたどり着くことが出来ました。

このお話はイエス様が私たちのためにしてくださったことを教えてください。イエス様が十字架の死によって流して下さった血によって私たちの罪は赦されるのです。

「御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。」（Iヨハネ1：7後半）

そして神様は永遠の命の望み、天国への道へと導いて下さいます。